



2021年2月12日

各 位

会 社 名 日 本 アジアグループ株式会社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 山 下 哲 生
(コード番号 3751 東証第一部)
問 合 せ 先 取 締 役 西 田 信 一
TEL (03)4476-8000(代表)

2021年3月期 第3四半期 決算説明資料に関するお知らせ

当社はこのたび、「2021年3月期 第3四半期 決算説明資料」を公開いたしましたので、別紙の通りお知らせいたします。

(別紙)

開示資料

『2021年3月期 第3四半期 決算説明資料』

以上



2021年3月期 第3四半期 決算説明資料

2021年2月12日

日本アジアグループ株式会社

証券コード3751

21/3期 第3Q連結決算 要旨



Point1

Xacti (ザクティ) を除く

空間情報事業とグリーン・エネルギー事業は引き続き好調

コロナ禍影響しXactiの回復遅れる、他事業の増益により営業利益黒字を確保

Point2

Xactiは、経営改革・事業変容の推進を急ぐ

コスト一層見直し、オリジナルブランドやリモート関連製品を販売強化

(百万円)	20/3期3Q	売上比 (%)	21/3期3Q	売上比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	69,030	100.0	62,780	100.0	△6,249	△9.1
営業利益	△126	△0.2	1,491	2.4	1,617	-
経常利益	△1,519	△2.2	467	0.7	1,987	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,259	1.8	△710	△1.1	△1,969	△156.4

(今期は前期不動産売却による特別利益の反動あり)

21/3期 第3Q連結決算 要旨



売上高

- コロナ禍影響によりデジカメ市場縮小続き、Xacti57億円減収が大きく響く
- 孫会社（エオネックス、利水社）譲渡（20年4月）は前年比減収要因
- 主力の国際航業とJAG国際エナジーは、ともに増収を確保し好調継続

営業利益

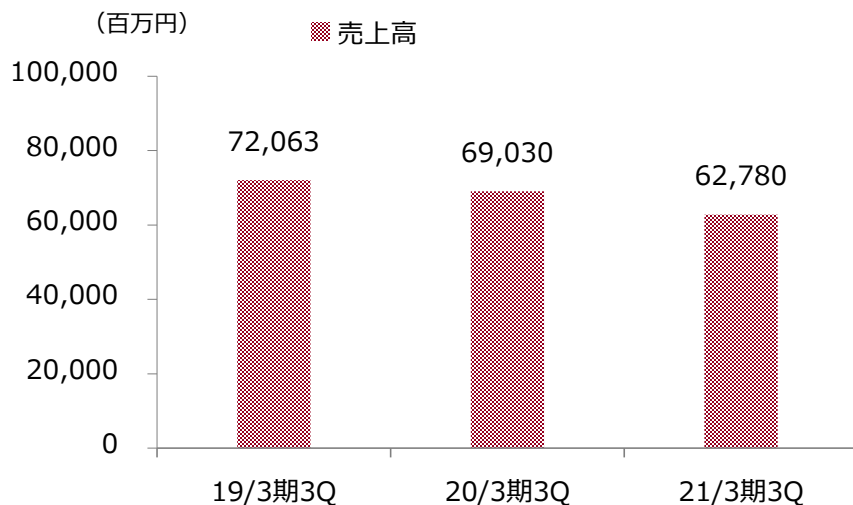
- 空間情報は営業損失23億円（うち Xactiの営業損失15億円）
- 太陽光発電 売電事業が好調、空間情報のマイナスをカバーし3期ぶり黒字化達成

経常利益

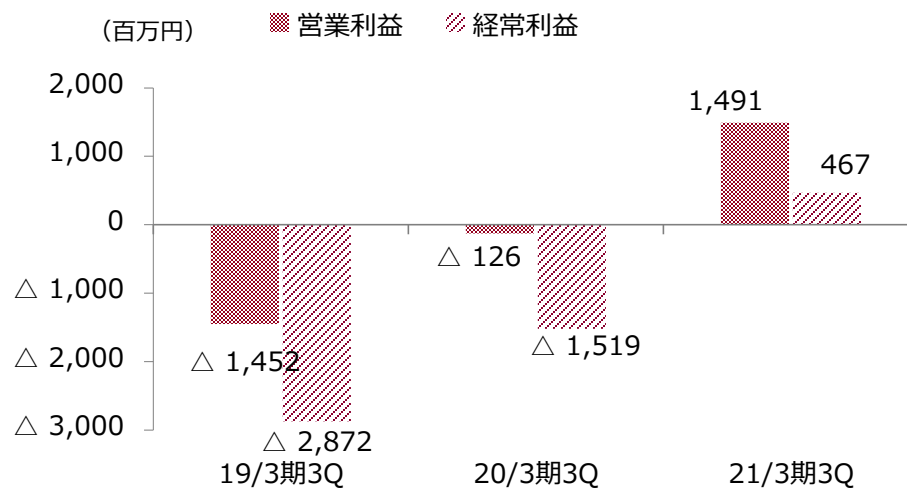
- 主に雇用調整助成金、支払利息減により、営業外収支は前年比約3億円改善

注1) 空間情報事業：国際航業は3月納期案件が多く、Xactiは開発売上が期末に集中するため、費用が先行しトータル利益は第4Qに集中する傾向にあります。

売上高の推移



営業利益/経常利益の推移



21/3期 第3Q セグメント別要旨



空間情報事業

- 主力の国際航業（単体）は増収・増益を達成し黒字化、コロナ禍の影響軽微、生産効率化に努力
- Xactiの決算は、デジカメ市場の収縮とコロナ禍影響し、売上高70億円（△45%）、営業損失15.4億円

グリーン・エネルギー事業

- 昨年度開発した太陽光発電施設増加、好天による安定した発電量が寄与し好調維持、大幅な増収・増益を達成

森林活性化事業

- KHCはコロナ禍で集客への影響あり減収・減益、JAGフォレストは森林不動産取引支援の問合せ増加中

セグメント	(百万円)	20/3期3Q	21/3期3Q	増減額	増減率 (%)
売上高		69,030	62,780	△6,249	△9.1
営業利益		△126	1,491	1,617	-
空間情報事業	売上高	47,156	38,419	△8,737	△18.5
	営業利益	△3,153	△ 2,303	849	-
グリーン・エネルギー事業	売上高	11,731	14,119	2,387	20.4
	営業利益	2,724	3,505	781	28.7
森林活性化事業	売上高	10,113	10,211	97	1.0
	営業利益	354	335	△18	△5.2
その他	売上高	29	30	1	4.8
	営業利益	△52	△ 46	5	-

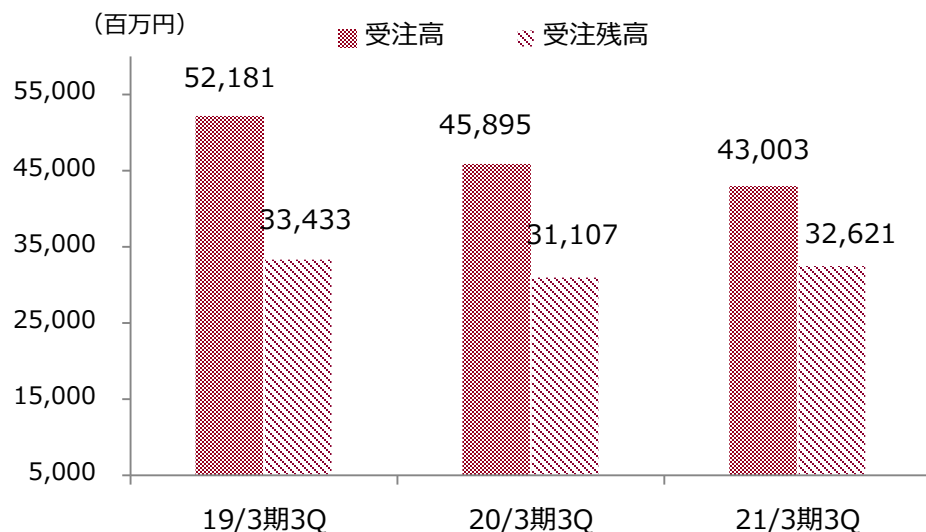
空間情報事業 決算要旨 1



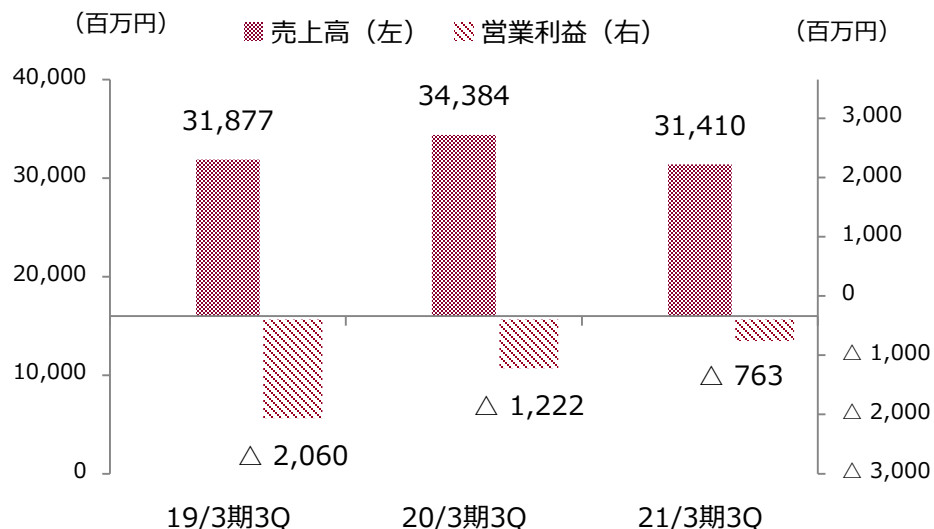
空間情報事業

- 主力の国際航業単体の受注高、収益は、ともに前年同期を上回り好調、3Qで黒字化達成
- 国際航業連結ベースでは、明治コンサル減収と孫会社譲渡が影響し、減収・増益にとどまる
- 明治コンサルはコロナ禍の影響受け、受注は前期比マイナス、一部生産遅延が発生
- 受注高は、防災・減災対策、国土強靱化のための公共事業予算執行があり、航空レーザ測量、三次元データ取得、防災・災害対応（地すべり、砂防等）など幅広い分野で順調に推移、受注残高は高水準

空間情報（除くXacti） 受注高/受注残高 の推移



空間情報（除くXacti） 売上高/営業利益 の推移



注) Xactiを除いた空間情報事業の受注高ならびに収益を表示。

空間情報事業 決算要旨 2



イメージソリューション事業

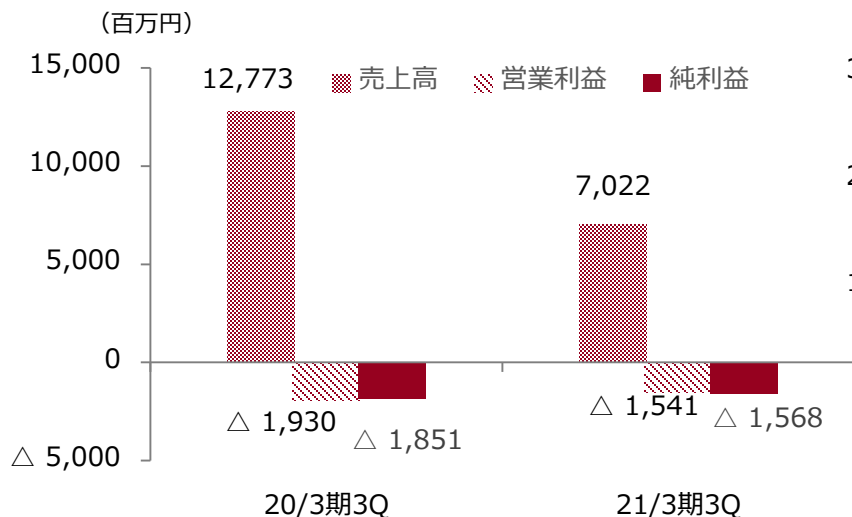
決算

- OEM事業はデジカメ市場の縮小が続き、コロナ禍の影響もあり完成品販売台数が大幅ダウン、前年比大幅減収（△45%）
- 部材調達市場の逼迫で生産・出荷減に伴い製造経費減少、固定費削減に一層努力したものの営業損失15.4億円

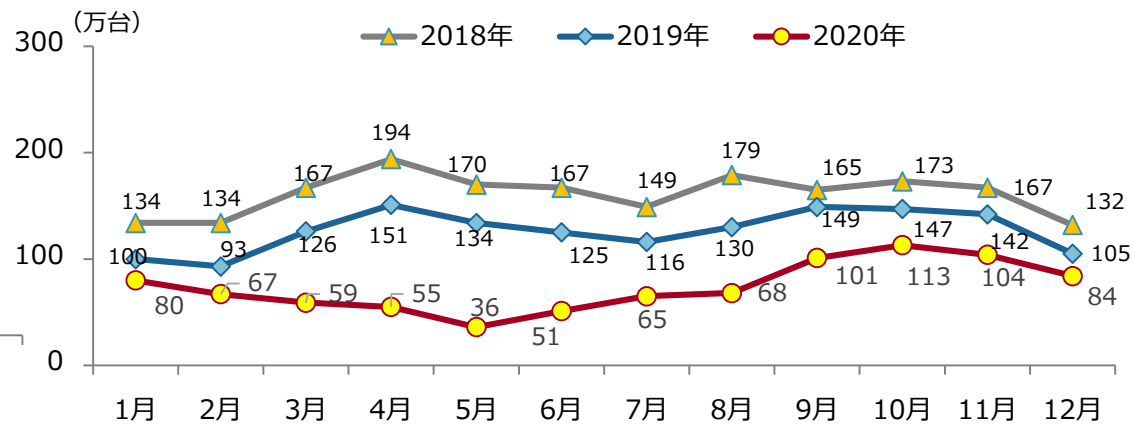
注力

- ウェアラブルカメラの開発・販売、使用現場に沿ったソリューション型販売を強化
- 新しい生活様式に即した新製品「Web会議用カメラ」、「国産・顔検出サーマルカメラ」の開発
- 生産技術、品質管理に関するノウハウを活用した業務支援サービスの提供をあらたに開始

ザクティ 売上高/営業利益 前期比較



デジカメ市場 月次出荷台数の推移 前年比較



(カメラ映像機器工業会資料よりJAG作成)

グリーン・エネルギー事業 決算要旨

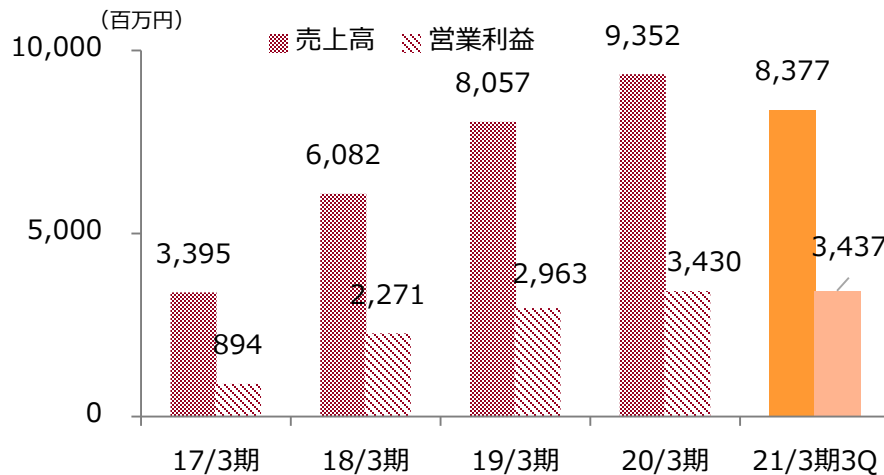


売電事業

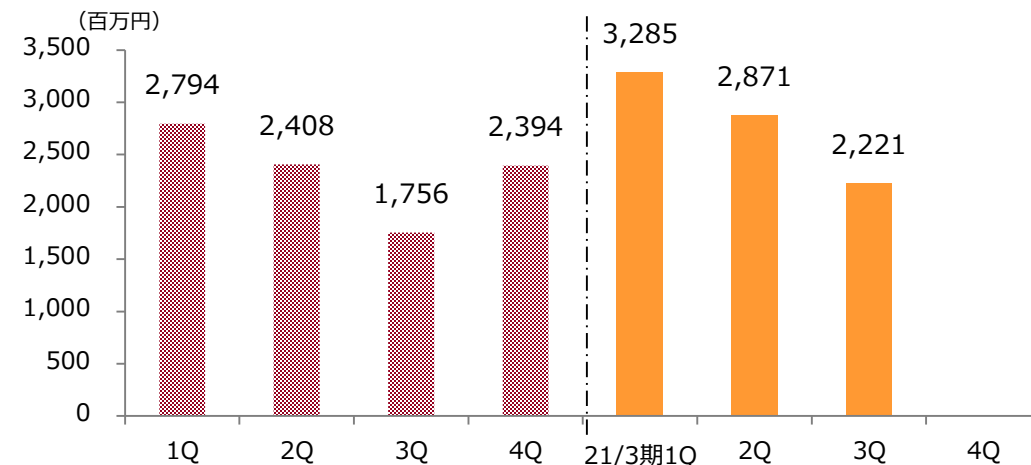
太陽光発電所開発は 全国**106箇所**、合計稼働出力**249MW** の規模にまで拡大

1Q 竣工案件		2Q 竣工案件		3Q 竣工案件	
SW	MW	SW	MW	SW	MW
名取2	0.7	宇部市川上	0.8	宇部市沖宇部	1.4
中井	0.7	宇部市文京台	1.0	宇部市東須恵	1.0
伊予	1.0			柏市柏高柳	1.3

売電事業 売上高、営業利益の推移



売電事業 四半期別売上高の推移



森林活性化事業 決算要旨



森林活性化事業

JAG フォレスト

- 収益化に向け徳島三好森林での林業生産継続中
- 森林不動産情報サイト「森林.net」は、物件情報、取引問合せ増加中

坂詰 製材所

- コロナ禍の影響なし、増収・増益（黒字）を達成
- 昨年度加工能力増強、製材生産量は新潟県内No 1

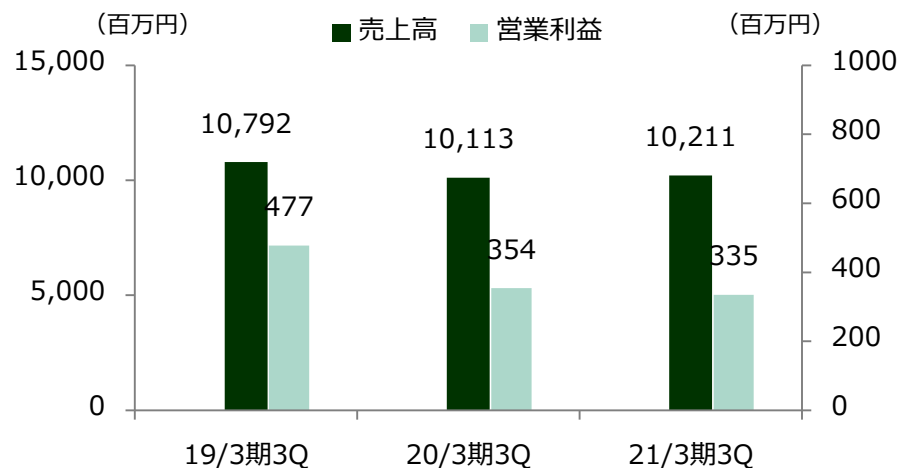
KHC

- コロナ禍影響も、夏場以降は受注好転・活発化
- 住宅ローン減税特例措置は追い風

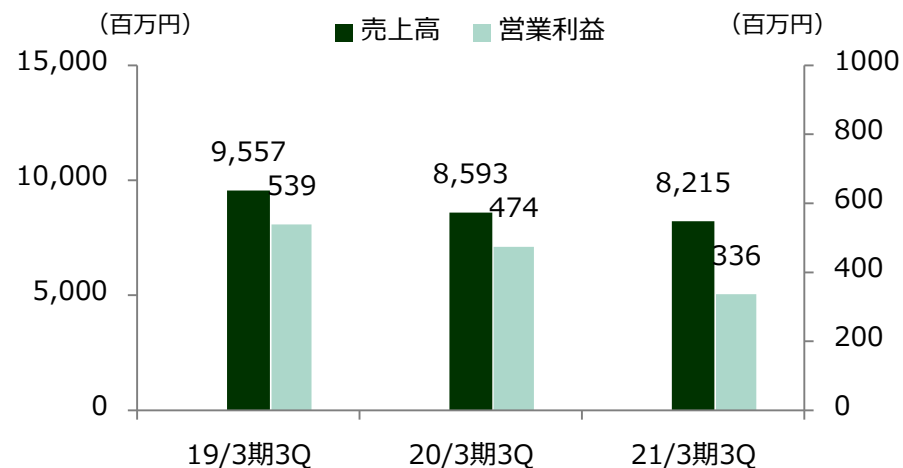
木村 産業

- 2019年10月より連結化し、今期よりフルに寄与
- 売上高、営業利益ともに計画線維持

森林活性化事業の業績前年比較



KHCの業績前年比較

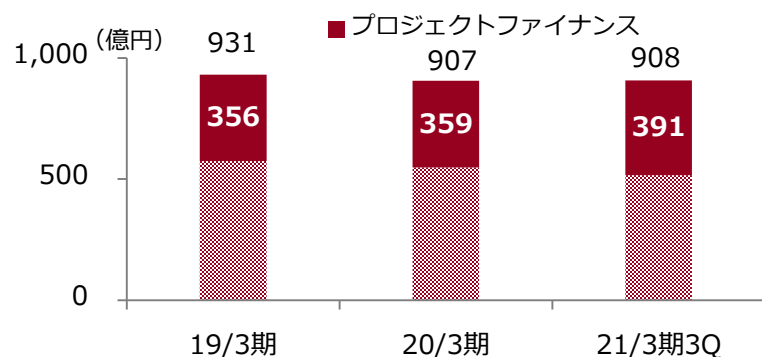


B / S 主な増減要因分析

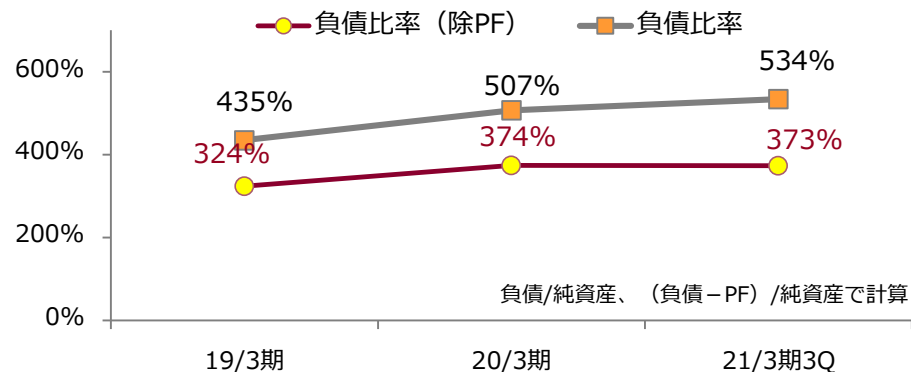


(百万円)	20/3期	21/3期3Q	増 減	主なコメント
流動資産	74,096	65,639	△8,456	
現・預金	25,711	26,776	1,065	
受取手形・売掛金	31,784	22,248	△9,536	期末は高水準だが、期中に回収進む
固定資産	87,831	87,563	△268	
有形固定資産	70,485	69,136	△1,349	
無形固定資産	4,006	3,696	△310	
投資その他	13,338	14,730	1,391	
資産合計	163,383	154,391	△8,992	
流動負債	51,276	46,451	△4,825	短期借入金返済、未払金決済
固定負債	85,218	83,574	△1,644	長期借入金減、社債減
(有利子負債)	90,737	90,866	129	内プロファイ391億円(前期末359億円)
純資産	26,888	24,365	△2,522	利益剰余金減
負債・純資産合計	163,383	154,391	△8,992	

有利子負債、プロジェクトファイナンスの推移



プロジェクトファイナンスを除く負債比率の推移



発電出力75MWのバイオマス発電所を開発

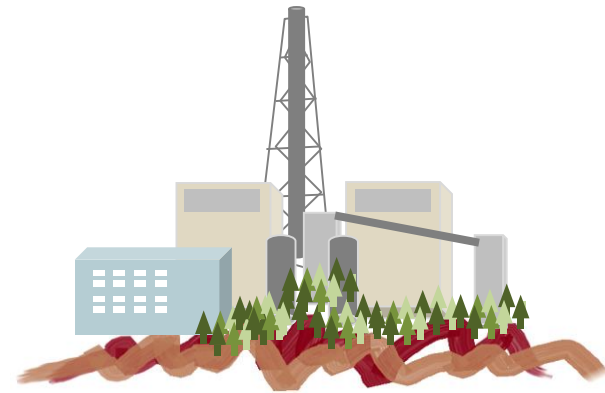
JAG国際エナジーは、丸紅クリーンパワー（株）、大阪ガス（株）と共同で、愛知田原バイオマス発電合同会社を通じてバイオマス発電所の建設、運営および売電を推進

概要

[所在地] 愛知県田原市臨海工業地域内田原4区の一部
[敷地面積] 約50,000㎡
[発電出力] 75 MW
[使用燃料] 木質ペレット
[工事開始予定] 2021年9月
[運転開始予定] 2024年10月

事業会社概要

[会社名] 愛知田原バイオマス発電合同会社
[本社所在地] 東京都中央区日本橋二丁目7番1号
[代表者] 職務執行者 成田 正士（丸紅クリーンパワー株式会社）
[設立日] 2016年11月28日
[事業内容] ・再生可能エネルギー発電施設の建設、維持管理及び運営
・発電された電気の売電
・電力取引事業
[出資者（出資比率）] JAG国際エナジー株式会社（37.5%）
丸紅クリーンパワー株式会社（37.5%）
大阪ガス株式会社（25.0%）



（バイオマス発電所のイメージ）

Web会議用360°全天周カメラを発売！

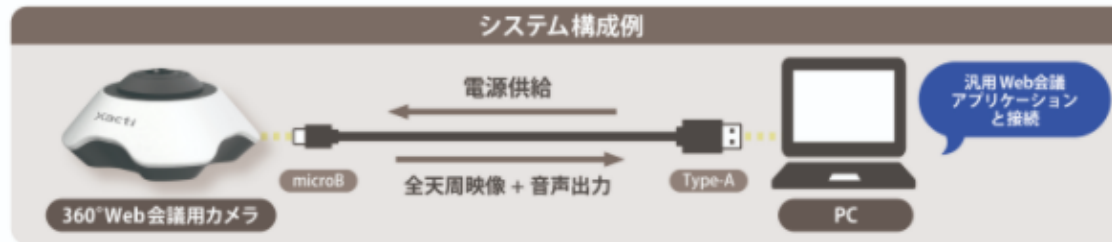
▶ with/post コロナの働き方に適した全天周カメラ

多人数参加の会議室からでも 全員参加の Web 会議を実現



特徴

- ◆ 複数人参加の会議に適応し、鮮明な画質で360°全天周の撮影が可能
- ◆ カメラの置き方を変えるだけで「上下パノラマモード」もしくは「超広角モード」に自動切替
- ◆ 高感度マイクを搭載し、室内の会話をクリアに収録

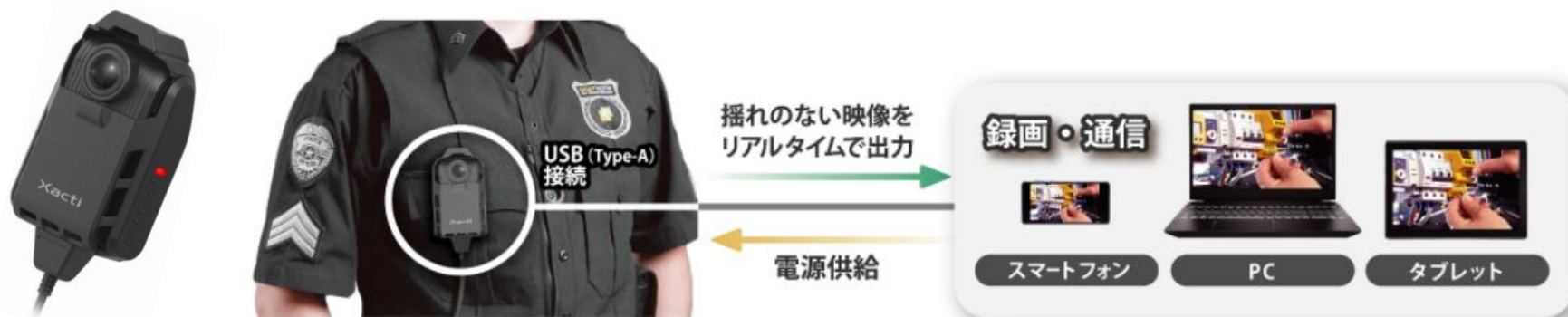


活用例

- ◆ 4~8人規模の会議：部屋の中央テーブルに平置きすることで360°全天周をパノラマ撮影「上下パノラマモード」
- ◆ 10~15人規模の会議：専用台座に縦置きすることで室内を広く撮影「超広角モード」
- ◆ 会議室でのWeb会議の他、遠隔地の家族とのコミュニケーションツールとしても利用可能

“驚くほどブレない”胸部装着型業務用ウェアラブルカメラを発売

作業員・監視員の制服や安全ベストなどボディに装着することで、現場における作業者の動きに合わせた鮮明で安定した映像を撮影



特徴

- ◆ 自社開発の強力な画揺れ補正機能「エクスタビライザ」により、撮影時の揺れをリアルタイムに補正し、安定した映像を出力
- ◆ 屋外使用に適した防塵・防水性能 IP65適合（USBプラグ部分除く）
- ◆ 大きな駆動装置（ジンバル機構など）が不要な小型軽量・高耐久・高信頼性カメラ
- ◆ Full-HD/30fpsの高精細映像出力が可能

活用例

- ◆ 屋内外の作業現場における記録、遠隔作業支援
- ◆ 警備・追跡・監視・検証現場における状態記録、遠隔作業支援
- ◆ スポーツイベント（マラソン・駅伝など）の記録用

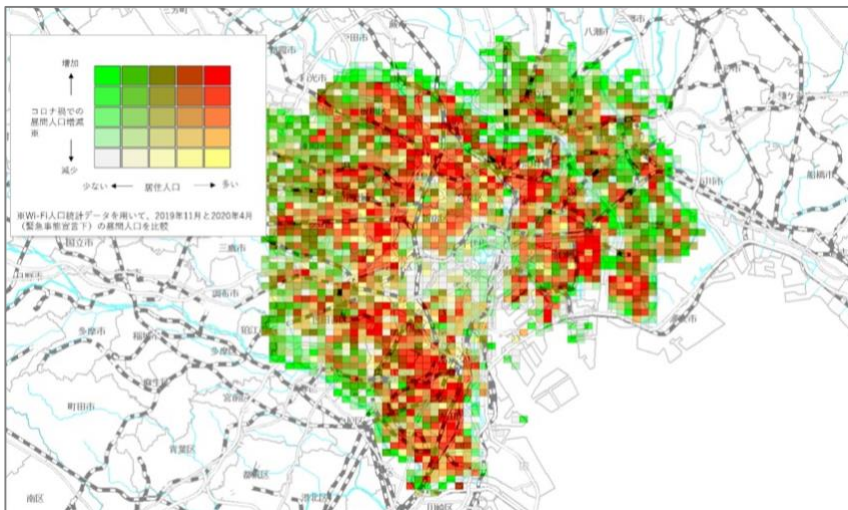


『Wi-Fi人口統計データ』による人流調査・分析レポートを公開 (集客ポテンシャルマップ)

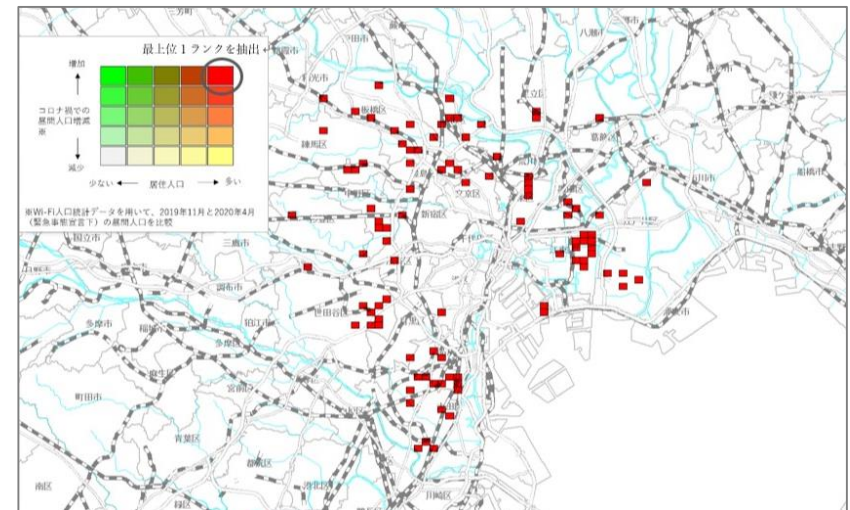
『Wi-Fi人口統計データ』は、フリーWi-Fiの接続ログから、性別や年齢、職業、生活スタイルなど、様々な要素で変化する人々の行動をデータとして表し、このデータの変動を分析することにより地域特性の変化や消費動向を推測することも可能になる。

- ◆ Wi-Fiの活用により、地下街や高層ビル内などGPSの届きにくい場所でも精度の高い位置情報を分析
- ◆ どのチェーン店を利用しているのか把握し、GPSでは判別が難しいテナントごとの来店を検知
- ◆ 日本全国の商圈分析や顧客分析、観光スポットの回遊調査など、さまざまな分野で利用可能
- ◆ 調査目的に合わせサンプリング抽出することや、数の偏りなどを補正し推計精度を高める
- ◆ 人の移動データ（ポイントデータ）の提供、移動者の属性（性別・年代）や推定居住地等の情報を付与

《集客ポテンシャルマップ》



《コロナ禍で昼間人口が増加または減少率が低い地区》



21/3期 通期事業計画



セグメント	(百万円)	20/3期	売上比 (%)	21/3期計画	売上比 (%)	前年比 (%)
売上高		97,887	100.0	93,700	100.0	△4.3
営業利益		2,456	2.5	3,600	3.8	46.6
経常利益		553	0.6	1,800	1.9	225.5
親会社に帰属する当期純利益		1,991	2.0	160	0.2	△92.0



「Save the Earth, Make Communities Green」

本資料に記載されている将来に関する記述および数値は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

お問合せ先： 日本アジアグループ株式会社

コーポレート・コミュニケーション部

TEL : 03-4476-8007

FAX : 03-3217-1810

E-mail : ir@japanasiagroup.jp

URL : <https://www.japanasiagroup.jp/>